

つぎ

- 若狭町議会構成
令和6年度新体制
- 特集
議会を知ろう
組合議会を紹介します
- 5月臨時会・6月定例会報告

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



5月18日・19日

若狭・三方五湖 ツーデーマーチ



(5月10日~)

議会運営委員会

				○坂本	◎今井
島津	藤田	倉谷	谷川	豊	富雄
秀樹	正美	明	暢一		

◎委員長
○副委員長

総務産業建設常任委員会

					
坂本	辻岡	島津	増井	○熊谷	◎倉谷
豊	正和	秀樹	文雄	勲信	明

原子力発電安全
対策特別委員会

		○倉谷	◎松本
北原	西村	川島富士夫	孝雄
武道	毅	明	

広報特別委員会

				○増井	◎谷川
北原	島津	藤田	倉谷	文雄	暢一
武道	秀樹	正美	明		

議会改革特別委員会

				○増井	◎島津
北原	坂本	倉谷	谷川	文雄	秀樹
武道	豊	明	暢一		

ごあいさつ
町制二十周年を迎え

若狭町議会議長 辻岡 正和

本年、三月十六日に北陸新幹線が敦賀まで開業しました。いろんな意味で相乗効果に期待するとともに、いかに若狭町にプラスの効果となるか、住民の皆様はもちろんのこと、行政と共に行動してまいりたいと考えております。

今年、若狭町も町制二十周年を迎える節目の年です。今大きく交通環境や経済環境が変わる中、今一度若狭町を良い方向で見直し、多くの人が来たくなり、住みたくなる若狭町にして行くように努力したいと考えております。

す。そして、SDGsの目標に沿って昨年より取り組んできましたタブレットを使った議会のペーパーレス化を今年度中に完了したいと思っております。

また、今年度は第五期若狭町議会の最終年度です。実行ある議会活動を議員全員一丸となって若狭町のために行動して行く考えであります。

結びに、住民の皆様方のご健勝と能登半島地震で被災された方々の一日も早い復興を心より願ひましてごあいさついたします。

令和6年度 議会新体制

若狭町議会構成

識見者
河原 武教
議会選出
今井 富雄

監査委員



議長 辻岡 正和



副議長 藤田 正美

教育厚生常任委員会



北原 武道
今井 富雄
藤田 正美
西村 毅
○川島富士夫
◎谷川 暢一

予算決算常任委員会

委員は議長を除く10名
○倉谷 明
◎藤田 正美



松本 孝雄

美浜・三方 環境衛生組合議会

今井 富雄
熊谷 勘信
川島富士夫
松本 孝雄
監査委員
辻岡 正和
副議長

若狭消防 組合議会

西村 毅
北原 武道
代表議員

敦賀美方 消防組合議会

今井 富雄
熊谷 勘信
川島富士夫
代表議員

公立小浜病院組合議会

倉谷 明
谷川 暢一
島津 秀樹
熊谷 勘信
常任委員
松本 孝雄
副議長

都市計画審議会

島津 秀樹
藤田 正美
増井 文雄
倉谷 明
川島富士夫
谷川 暢一

福井県後期高齢者医療 広域連合議会

辻岡 正和

若狭広域行政 事務組合議会

藤田 正美
谷川 暢一
島津 秀樹
代表議員
副議長

嶺南広域行政 組合議会

増井 文雄
辻岡 正和
藤田 正美
代表議員

組合議会を紹介します

若狭町が関わる一部事務組合の
議会に当町議員が参画しています。
そのうち、6つの組合議会を
紹介いたします。

若狭消防組合議会

小浜市・若狭町・高浜町・おおい町の議会議員から構成されており、予算、条例などの審議、決定を行う機関

【議員定数】 14名
小浜市7名、若狭町2名、
高浜町3名、おおい町2名

【定例会】 毎年2回

公立小浜病院組合議会

小浜市・美浜町・若狭町・おおい町の議会議員から構成されており、公立小浜病院およびレイクヒルズ美方病院の運営および条例などの審議、決定を行う機関

【議員定数】 20名
小浜市10名、美浜町3名
若狭町5名、おおい町2名

【定例会】 毎年3回

若狭広域行政事務組合議会

小浜市・高浜町・おおい町・若狭町の議会議員から構成されており、若狭広域の可燃ごみ処理施設の設置および管理、要介護等認定・障害支援区分認定審査事務、斎場の設置などを共同処理する機関

【議員定数】 12名
小浜市3名、高浜町3名、
おおい町3名、若狭町3名

【定例会】 毎年2回

敦賀美方消防組合議会

敦賀市・美浜町・若狭町の議会議員から構成されており、予算、条例などの審議、決定を行う機関

【議員定数】 16名
敦賀市9名、美浜町4名、
若狭町3名

【定例会】 毎年2回



消防大会観閲式
(敦賀美方消防組合提供)

美浜・三方環境衛生組合議会

美浜町・若狭町の議会議員から構成されており、美浜・三方環境衛生組合施設(美方汚泥再処理センター、堆肥化处理施設など)運営に係る審議、決定を行う機関

【議員定数】 11名
美浜町6名、若狭町5名

【定例会】 毎年2回

嶺南広域行政組合議会

嶺南広域行政組合は嶺南の2市4町で構成されており、執行機関(管理者)と議決機関(議会)で運営され、嶺南地域の各種事業(振興促進基金設置や公共交通利用促進および活性化推進など)を協議

【議員定数】 21名
敦賀市8名、小浜市4名、
美浜町2名、若狭町3名、
おおい町2名、高浜町2名

【定例会】 毎年2回

6月定例会

開催期間 6月4日(火)～6月21日(金)

一般会計に3億429万円を増額補正

令和6年度
一般会計予算総額

119億7632万円

主な歳出(補正額)

(千円未満切捨て)

事業名	説明	補正額
地域活性化事業	集落へのコミュニティ助成 (白屋、相田、上野木)	750万円
住民税非課税世帯等生活支援給付金事業	対象者への給付金支給	1億3983万円
予防接種事業	新型コロナウイルス・ インフルエンザ予防接種助成	4253万円
新規就農者支援事業	新規就農者育成総合対策 (経営発展支援)	636万円
水田農業機械施設等整備事業	水田農業機械整備(4経営体)	2149万円
土地改良事業	県営土地改良事業負担金(日笠)	320万円
農地耕作条件改善事業	田んぼダム利活用促進事業 (杉山、三宅)	1050万円
林道維持費	相田新庄線	300万円
治山事業費	小規模荒廃治山事業(熊川)	320万円
沿岸漁場環境改善事業	藻場造成補助金(世久見)	101万円
観光DX推進事業	観光客の現状調査、Web広告等	270万円
道路維持修繕事業	町道1512号線水路整備工事	1200万円
道路改築事業	東部184号線・224号線舗装、 南部35号線改良工事	2755万円
学校規模配置適正化事業	瓜生・熊川小学校統廃合に係る 経費等	411万円

主な歳入(補正額)

(千円未満切捨て)

◆ 国庫支出金	1億6996万円	◆ 繰越金	4558万円
◆ 県支出金	4705万円	◆ 町債	2910万円

特別会計・企業会計

(千円未満切捨て)

会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	924万円	15億8580万円
介護保険	1359万円	19億5484万円

会計区分	補正額	合計額
下水道事業	1485万円	17億5548万円
上中診療所事業	632万円	5億4050万円

常任委員会報告

予算決算常任委員会

◆令和6年度補正予算

本委員会に審査を付託された一般会計及び特別会計補正予算に関する議案は5件。

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計補正予算

▼総務課関連

問 DX推進事業の地域活性化企業人の副業型について、月に一日以上若狭町に滞在しなければならぬのは厳しいのではないかと。

答 一日以上役場で勤務していただく。フレックスタイム制、勤務時



間外や有給休暇を有効活用していただきたい。

▼産業振興課関連

問 沿岸漁場環境改善事業について、プラスチックメッシュは経年劣化での海洋プラスチックごみが問題となっており、管理はどうするのか。

答 今後の管理も地元漁協が行う。



藻場造成のためのプラスチックメッシュ

▼建設課関連

問 町道南部35号線改良事業の進捗状況について、遅延理由は何か。

答 国交省の引継ぎで、国交省との協議に時間を要している。協議終了後、地元説明をする。

問 舗装改良事業の東部224号線は通学路となっているが、歩道が無く危険である。ゾーン30にできないか。

答 ゾーン30は環境安全課関連となるため、協議し検討する。



東部224号線

▼税務住民課関連

問 住民税非課税世帯等生活支援給付金事業では、自治体の作業が煩雑になるとはどのような作業か。

答 システムによる給付金対象者の抽出を行い、再度確認する作業や郵送作業、申請書類の確認、問い合わせへの対応に時間を要すると思われる。

▼健康医療課関連

問 新型コロナウイルスワクチン接種費用の公費負担は全国一律か。

答 国の負担分については全国一律である。各自治体の残りの負担分は自治体により異なる。

○国民健康保険特別会計

問 マイナンバー保険証に関するシステム改修は、国からの特別交付金の足りない部分を国民健康保険特別会計の基金で補填するのは違うのではないかと。

答 予算は現行の制度で算出したものであるが、補助の拡充をお願いし、国が責任をもって実施するようお願いしていく。

総務産業建設常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案2件、請願1件。

【議案2件】

採決の結果、委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町税条例の一部改正について

地方税法の一部を改正する法律が令和6年3月30日に公布されたことに伴い、若狭町税条例の一部改正が必要となるもの。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

海越浄化センター整備に伴う辺地対策事業債の発行及び措置のため、当該辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更するもの。

【請願1件】

採決の結果、委員の賛成者はなく、不採択すべきものと決定。

○日本政府に核兵器禁止条約の参

加・調印・批准を求める請願

核兵器禁止条約への参加・署名・批准の手續きをを進めることを日本政府に求める意見書を、日本政府と関係機関に提出することを願う内容のもの。

【反対討論】

核兵器禁止条約は日本も被爆国であるので、内容については賛同できるが、核兵器禁止条約には、核保有国に対する支援も禁止とある。日本はアメリカと同盟国の立場であり、アメリカがもし核を使用することになった場合、支援しなければならぬ立場である。日米安保条約は大変重要であり、意見書を出すことには反対する。

教育厚生常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案5件と請願1件。

【議案5件】

採決の結果、委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条例を一部改正するもの。

【主な質疑事項】

問 若狭町に該当する事業所はどこか。
答 現状は無い。

○若狭町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

○若狭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

○若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

○若狭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に

関する基準を定める条例の一部改正について

人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、施設の種類に依りて条例をそれぞれ一部改正するもの。

【請願1件】

採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決定。

○訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書

訪問介護職員の基本報酬の引き下げに対して若狭町議会として反対を表明し、介護報酬引き上げの再改定を行うよう意見書の提出を求めるもの。

【反対討論】

町内に訪問介護だけの事業所は無い。訪問入浴介護は今津から来ている。意見書は、その事業者のある自治体が出すもので、若狭町が出す意味はない。

【賛成討論】

全国的に困っている。意見を言うべき。今津の事業者がこの引き下げの影響を受けなくなると、今その入浴サービスを受けている若狭町の介護を必要とする人が困ることになる。

5月臨時会

5月10日に採決され全員賛成で承認・同意された議案

- ・専決処分の承認を求めることについて(若狭町税条例の一部改正について)
- ・専決処分の承認を求めることについて(若狭町国民健康保険税条例の一部改正について)
- ・専決処分の承認を求めることについて
(若狭町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について)
- ・若狭町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(海士坂 内藤 祥子 氏)

6月定例会

6月4日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・工事請負契約の締結について(令和6年度若狭町スマートエリアモデル分譲地造成工事)
- ・工事請負契約の締結について(令和6年度町道3301号線防護柵設置工事)

6月21日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・若狭町税条例の一部改正について
- ・若狭町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・若狭町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・若狭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・若狭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ・令和6年度若狭町一般会計補正予算(第1号)
- ・令和6年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・令和6年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・令和6年度若狭町下水道事業会計補正予算(第1号)
- ・令和6年度若狭町国民健康保険上中診療所事業会計補正予算(第1号)

6月定例会

議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。

○賛成 ×反対

賛否背景は各質疑事項(P6・7)をご参照ください。

議案等名	採決月日	谷川暢一	川島富土夫	西村毅	倉谷明	増井文雄	藤田正美	熊谷勸信	島津秀樹	辻岡正和	坂本豊	今井富雄	北原武道	松本孝雄
訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書	6/21	○	×	○	×	○	○	○	×	-	○	○	○	×
訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書について(発議)	6/21	○	×	○	×	○	○	○	×	-	○	○	○	×
日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願	6/21	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	○	×

若狭町議会から意見書を提出

○訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

【概要】 介護報酬の改定で訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられ、小規模事業所が経営難に陥り、在宅介護サービスが続けられなくなる恐れがある。充実した介護サービスの提供と介護人材確保を求めるため、意見書を提出した。

※地方自治法第99条に基づき、普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。

一般質問

(文責：質問者本人)

General questions

かわしま ふじお
川島 富士夫
議員



本町が「将来的に消滅の可能性がある自治体」と公表されたことについて

町長

消滅という過激な言葉は住民の不安と、地方と都市の分断を招き、極めて遺憾だ

問 民間組織「人口戦略会議」が4月、将来的に消滅の可能性があると公表した「自治体一覧」に本町が含まれたことに対する町長の見解を伺う。

答 消滅という過激な言葉で線引きをすることは住民の不安を招き、地方と都市の分断をもたらしかねない。極めて遺憾だ。少子化対策などは1自治体で完結できる問題ではなく、国が抜本的な対策を講じるべきだ。本町は進学や就職による若年層の県外流出に加え、若年女性の転出が多いことによる婚姻数の減少などが人口減少につながっている。

問 人口戦略会議の発表は、本町の想定をはるかに上回るスピードで人口減少が進んでいると警告しているが、今後本町はどのように取り組むのか。

答 若狭町次世代定住促進協議会の取り組みを軸とし、住み続けたい町づくりを推進するとともに、移住したくなるよう本町の魅力を発信する。

問 私はかねてより少子化を抑制するため、本町の合計特殊出生率を2.0以上に上げる思い切った施策が必要だと提唱している。再度見解を伺う。

答 町として思い切った大規模な経済的支援策については、国や県などが主導して一律に行い、各自治体間で格差が生じないようにするべきだと考えている。

マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)利用について

問 マイナンバーカードを健康保険証として利用するメリット・デメリットは何か。

答 医療機関等を受診した際にマイナ保険証を使って、自分の薬の履歴や過去の特定健診の情報提供に同意すれば、医師や薬剤師からより正確な診断や薬の処方を受けられる。さらに限度額情報を提供することに同意すれば、入院などの高額療養費制度を利用する際に、病院窓口へ限度額適用認定証を提出する必要がなくなり、自己負担限度額を超える支払いが免除される。また、マイナポータルアプリから医療費を確認できるため、スマートフォンで確定申告を行う場合に医療費控除の手続きが大変便利になっている。

たに がわ のぶ かず
谷 川 暢 一
議員



「ハピポ」とは? デジタルポイント推進の状況とこれからの展望は

町長

健康づくりにポイント付与「わかサイフ」も活用し多くの分野と連携したい

問 デジタルポイントを活用した「SDGs みんなdeハッピー健康ポイント」愛称「ハピポ」とは。

答 町LINE公式アカウントを使い日常の健康づくり活動にポイント付与する。貯めたポイントを「わかサイフ」で使う以外にも、集落への助成金にあてたり、保育園などに絵本や図書を寄付するなど社会貢献型となっている点が特徴である。

問 デジタルポイントの今後の推進、活用は。

答 ハピポ実施で若狭町LINE公式アカウント登録が約600名増となり2,800名を超えた。今後も他分野と連携したデジタル活用で元気なまちづくりを進めたい。

「ラーケーション」という新しい制度への取り組みの考えは

問 ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を合わせた造語で、平日に学校欠席にならず学びとして休暇を楽しむ制度で、休日労働の親の家族時間の増加、有給休暇取得の増加、休日の混雑の緩和など多様な効果が見込め、じわじわと全国に広がっている。当町ではどう考えるか。

答 現段階では積極的に取り組む予定は無いが、親子が一緒に過ごす機会を増やせるなど、休み方改革の先進的事例であり先行事例を参考に考えていく。制度を利用した平日観光客の誘致活動に関しては、学びに役立つ観光地・施設が多い当町としては積極的に取り組んでいきたい。

サル群れ捕獲の状況と、クマの「指定管理鳥獣」追加について

問 三宅区においての大型檻での捕獲状況は。

答 三宅サル対策組合として区民に多くの協力をいただき、これまで35頭を捕獲し一頭4,000円を捕獲報償費としている。

問 環境省によるクマの「指定管理鳥獣」への追加をうけ、対策に変化はあったか。

答 国の交付金を使い捕獲報償費が出せるが、嶺南では保護対象である。捕獲できるよう県に対し訴えていきたい。



くまがいかんしん
熊谷 勤 信
議員

可燃ごみ処理施設に係る現状と今後のエコクル美方について伺う

町長

リサイクルプラザや堆肥化施設については、立地協定に基づく使用期限まで利用させていただく

問 ごみ処理の効率化による効果とゴミ減量化の取り組みは。

答 若狭広域サテライトセンターが4月から稼働し、当施設でごみを受け入れることで、地域住民の利便性の向上が図られていると考えている。また、経費についても削減できているものと考えている。今後も分別を徹底することで、減量化が図られるものと考えている。

問 広域可燃ごみ中継施設「若狭広域サテライトセンター」の稼働状況は。

答 4月から稼働し、2か月余りが経過し、センターの計画、処理量年間362.8トンに対して、4月は約113トンの持ち込み量で、計画量より少ない持込実績となっている。

問 飲食業、民宿等を営む業者のごみの取り扱いについて。

答 事業者の皆様には、施設への自己搬入か、一般廃棄物収集運搬許可業者に委託する方法での処理をお願いしているが、今後搬入状況等を踏まえて、関係事業者の方々と協議をさせていただく。

問 エコクル美方のガス化溶融施設について。

答 現在運用しているリサイクルプラザと堆肥化施設が受電源設備を共有していることから両施設の使用期限までは、維持管理を継続していくこととなっている。

問 エコクル美方の今後の活用について。

答 現在、リサイクルプラザは若狭町が単独で利用している。また、堆肥化施設は美浜・三方の畜産農家から牛糞を受け入れている。今後の利活用については、立地協定に基づく使用期限までは利用させていただき、その後については、美浜・三方環境衛生組合において協議し、検討していく。

問 若狭広域行政事務組合における可燃ごみ処理施設以外の共同事業の取組み状況は。

答 可燃ごみ処理焼却施設は、令和5年度より。可燃ごみ中継施設は令和6年度より本格稼働している。斎場については、若狭町以外3市町の共同業務として取り組んでおり、おい町もしくは小浜市における建設候補地の選定を目指している。また、リサイクル施設および埋立処分場についても調査研究を進めていく予定である。



くらたにあきら
倉谷 明
議員

森林環境譲与税の活用計画を伺う

町長

若狭町制20周年記念事業のひとつとして「笑顔と緑あふれる植樹事業」を計画している

問 森林環境税の徴収が6月から始まる。森林環境譲与税の先行配布額は。

答 令和元年度から令和5年度までで、5771.3万円である。

問 若狭町の森林面積はいかほどか。また、管理されている私有人工林の割合は。

答 本町の森林面積は11,854haで人工林率は49.2%である。

問 荒廃が進む放置森林の現状への考えを伺う。

答 森林災害の危険性が高まると考える。放置された里山林の整備は譲与税を活用した「里山林保全対策事業」がある。集落へ要望調査し、災害リスクや景観整備等を考慮し、順に取り組んでいる。

問 森林経営管理制度があるが、所有者に対する意向調査で町に経営や管理を委託されたか。また、相続登記されず、所有者が不明や連絡が取れない私有人工林はあるか。

答 所有者アンケート調査では回答者の約4割から町や森林組合などの第三者に委託したいと回答があったが、実際に委託されたケースは無い。森林の現況調査を実施し、適切な森林整備に活かしていく。連絡が取れない状況は現在のところ無い。

問 災害や土砂崩れの予防、生態系保全などへの取り組みは。

答 「沢沿いにかかる倒木除去事業」があり、河川上流部を中心に伐採や撤去を行い、災害に強い町づくりを進めている。

問 福井県で開催される全国育樹祭に併せての町の行事計画、啓発活動は。

答 木に親しみ、森を守り育てることの大切さを啓発していく。譲与税は各地区・団体による植樹、子ども達の木育活動等にも有効活用を推進する。

その他の質問

・交流人口増へのスポーツイベントについて。



きた はら たけ みち
北 原 武 道
議員



新幹線敦賀延伸で 観光客(交流人口)はどうなったか

観光商工課長

レインボーライン山頂公園の1日あたりの入込客数は、ゴールデンウィークが2,172人、その後5月末までが1,703人だった

問 昨年との比較ではどれだけ増えている(何倍になった)のか。他の観光スポットについても伺う。

答 レインボーライン山頂公園はゴールデンウィークが1.05倍、その後5月末までが2.10倍になった。瓜割の滝はそれぞれ1.48倍および0.84倍である。道の駅三方五湖は0.94倍および0.84倍である。道の駅若狭熊川宿は0.93倍および0.76倍である。宿泊客に関しては、ある1つの宿泊施設について確認が取れているので、その結果を答えると、ゴールデンウィーク1日あたりの宿泊客数は0.89倍(64人→57人)、その後5月末までの1日あたりが0.65倍(60人→39人)であった。

問 レインボーラインを訪れる人は増えたが、他は増えていない。新幹線を降りてからの二次交通が便利になり、観光地をスムーズに回れるようになると「滞在型の観光客」が減るのではないか。その点、農水省のホームページで紹介している本町の「梅ツーリズム」は滞在型の観光として発展性があると思われる。かつて「エコ・グリーンツーリズム」というものがあつたが、現在どうなっているのか。

答 「エコ・グリーンツーリズム」は、農村民泊やワーキングホリデー、農林漁業体験の受け入れを行うもので、町の観光部署が事務局となり、受け入れ事業者や観光関係者で協議会を組織して平成20年から取り組んできた。昨年度まで、延べ2,774名を農村民泊で受け入れたが、農村民泊事業者の高齢化やコロナ禍により、昨年、協議会は休会となった。今後、あらためてエコ・グリーンツーリズムを推進していきたい。



レインボーライン山頂公園

しま づ ひで き
島 津 秀 樹
議員



公営住宅建設や入居支援体制は

町長

居住支援協議会の設立を検討し、民間賃貸住宅も含めた体制を構築していく

空き家活用の 推進と補助制度について

問 空き家の活用支援においてコンサルや地元集落との連携などソフト面での支援が必要。

答 空き家所有者と購入者または賃借人とのマッチングを拡充させることが急務。ツアー等を通じて多くの希望者に知っていただくことが大切。集落、仲介業者、行政が一体となって居住後のフォロー体制も重要だと考える。

問 実家近くの空き家を購入または賃借して近居する場合の支援策の検討は。

答 近居を目的とした空き家への移住支援は多くの効果が期待できるので、移住定住施策に関連して検討していく。

公営住宅の建設について

問 公営住宅は住宅確保要配慮者向けに低廉な家賃で安定的に住宅を供給することが役割の一つだが、現在は大鳥羽の1か所だけで必要数に足りていないと思うが、新規建設計画はないのか。

答 住宅不足を緩和する必要があると認められる時は、新規供給を行う事は考えている。

問 高齢者の入居希望が民間賃貸物件への申込が増えている。しかし大半の大家さんが“死亡事故”や“見守りや生活支援”“家賃債務保証”を心配して拒否されることが多い。住宅施策と福祉施策が連携した居住支援体制を整備し、居住支援法人等の認定制度を創設し、民間事業者と連携して要配慮者が円滑に入居できる環境を整備する必要があると思うが。

答 住宅確保要配慮者の増加が見込まれる中、公営住宅だけでは対応が見込めず、民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネットの構築が必要。民間賃貸住宅への円滑な入居を支援するための居住支援協議会の設立等を前向きに検討していく。

意見 居住支援を行う法人の認定や入居中のサポートを行う賃貸住宅の認定制度の創設と供給を促進し、居住サポート住宅の供給戸数を増やせるよう対応していただきたい。



令和6年 9月定例会の日程

会期：9月2日(月)～9月20日(金)

- 本会議(開 会) / 9月 2日(月) 9時
- 本会議(一般質問) / 9月 9日(月) 9時・[予備日] 10日(火)
- 本会議(閉 会) / 9月20日(金) 9時

※一般質問は、原則翌日から行政チャンネルで録画が放送されます。

※本定例会で扱う請願・陳情の受付は8月23日(金) 15時締め切りです(議会事務局)。



傍聴に来て
くださいな

*詳細日程は、右記のQRコードから御確認ください。
*町ホームページにも掲載しています。



議会の動き



6月8日 町水防訓練(瓜生小グラウンド)



6月20日 スマートエリアモデル分譲地造成工事安全祈願祭(井ノ口)

今回の表紙

第32回若狭・三方五湖ツーデーマーチが5月18,19日に開催され、友人と仲良く、家族を励まし合い、五湖レンジャーからは元気をもらい、町内外から多くの参加者が初夏のわかさを闊歩しました。



編集後記

議会委員会構成が新しくなり、またタブレット端末の活用も進んできました。皆、新たな気持ちで議会活動に取り組んでいます。

今年は6月初旬から気温30度超えの非常に暑い日が続いています。今夏は昨年を上回る酷暑となる予報も聞かれます。体調管理には十分気を付けたいものです。

同時に大雨や暴風による被害も心配です。災害時には、個々の備えによる自助と共助公助を「つなぐ」ことが大事かと思えます。(谷川 暢二)



広報特別委員会

左から 増井副委員長、谷川委員長、島津委員、北原委員、倉谷委員、藤田委員

